

製品安全データシート (M S D S)

発行 2011年10月26日



会社情報	会社名 秋山精鋼株式会社 住所 東京都足立区神明2-6-23 担当部門 生産部技術開発室 電話番号 03-3605-2134 FAX番号 03-3628-9212 緊急連絡先及び電話番号 同上 作成・改訂 1999年2月作成 2008年4月改訂(2011年10月見直し)
1. 製品名	オーステナイト系快削ステンレス鋼 SUS303
2. 製品の組成	単体／混合物の区分：混合物（合金） 主な成分（トリベ分析値にて管理）
成分	含有量 (wt%) C A S番号 区分
炭素 (C)	≤0.15 7440-44-0 —
ケイ素 (Si)	≤1.00 7440-21-3 —
マンガン (Mn)	≤2.00 7439-96-5 ③
リン (P)	≤0.20 7723-14-0 —
硫黄 (S)	≥0.15 7704-34-9 —
ニッケル (Ni)	8.00～10.00 7440-02-0 ③
クロム (Cr)	17.00～19.00 7440-47-3 ③
モリブデン (Mo)	≤0.60 7439-98-7 ②
鉄 (Fe)	残部 7439-89-6 —
区分	—：対象外 ①：労安法対象物質 ②：PRTR法対象物質 ③：労安法及びPRTR法対象物質
3. 危険有害性	一般的な環境下では、現在のところ危険有害性に関する有用な情報はないが製品の取扱い、加工に際し下記項に留意する。 1) 重量物のため、転倒、転がり、荷崩れ等に充分な注意を要する。BAR状態の製品は包装テープや結束ロープの切断等により開包する際に材料が転がる恐れがあり、コイル状態の製品の結束フープを切断するときはフープ及び材料端部が跳ね上がる可能性があるため、安全に留意を要する。 2) 鋼材の切断端面及び切削屑等は皮膚を傷つける場合がある。 3) 加熱、溶融、切削、研削等の加工等に伴うヒュームや微粉は呼吸器、目他の粘膜を刺激する場合があり、アークは火傷を起す可能性がある。
4. 応急処置	必要な応急措置の後、必要に応じて医師の診断を受ける。下記は応急措置の例である。 *ヒューム等により呼吸困難を起した場合は、呼吸補助をし、速やかに医師の診断を受ける。 *アーク等により火傷した場合は、患部を冷やし、必要に応じて医師の手当てを受ける。 *ヒューム・微粉等が目他の粘膜を刺激する場合は、水で洗い流し、速やかに医師の診断を受ける。 *鋼材切断端面及び切削屑等で皮膚を傷つけた場合は、切傷の清潔を保ち、必要に応じて医師の手当てを受ける。
5. 火災時の処置	：不燃性の状態にあり、火災は生じない。
6. 漏洩時の処置	：一般的な環境では、形状のある固体であるため漏出しない。

7. 取扱い及び保管上の注意事項	
1) 水漏れ、結露、酸及び塩分との接触、高温多湿の環境では外観品質が劣化する場合があるの で注意する。	
2) 転倒・落下の防止対策を講じる。	
8. 暴露防止措置及び保護措置	
1) 本製品を加熱、溶融、切削、研磨等の加工等を行い、ダスト・ヒューム形態の金属及び金 属化合物等が生じる場合は、成分元素に関わる暴露限界以上のダスト・ヒューム等の影響 を受けないように、衣服や顔面等の適切な保護や換気措置をすること。(例えば成分元素の マンガン(Mn)化合物ヒュームは吸入、経口吸入による急性及び慢性中毒が認められるため である。) 尚、暴露限界値については「日本産業衛学会勧告値」や「ACGIH:米国産業衛生 専門家会議勧告値」等が適切である。	
2) 皮膚及び身体の保護具: 切傷防止等の為、保護衣、保護手袋を着用する。	
3) 鉛(Pb)を含有する鋼は研削加工や切削加工時に微量の蒸発の可能性があるため、フード等で カバーするのが望ましい。	
4) 本製品を酸洗、脱スケール等の処理を行い金属が溶解する場合は、溶解物質に接触したり、 吸引等をしないよう対応すること。	
5) 加工により発生したダスト・ヒューム等の収集物についてはその形態に応じた危険・有害性 を確認すること。(例えば成分元素の酸化物が粉体状になっている場合、燃焼・爆発性を有す る場合があること等)	
9. 物理的性質	
形状・色	: 棒状若しくはコイル状の固体で引抜加工または研削加工による銀白色状の加工肌。
引火点	: 該当なし。但し加工により生じた微粉は燃焼、爆発性を有する。
融点	: 1400°C以上
比重	: 7.9
機械的性質	: 引張強さ $\geq 440\text{N/mm}^2$ 伸び $\geq 10\%$
10. 安定性・反応性	
可燃性	: 微粉状態で火気に投入すると、激しく燃焼する。
発火性	: 室温では自然発火性なし。
粉塵爆発性	: 微粉鉄は空气中で爆発性粉塵を形成する。
11. 有害性	
鋼材としては現在のところ有害性に関する有用な疫学的情報はなし。	
12. 環境影響情報	
鋼材としては現在のところ環境影響に関する有用な情報はなし。	
13. 廃棄上の注意	
鋼材スクラップとしてリサイクル可能。	
14. 輸送上の注意	
転倒、転がり、荷崩れ等のないようにする。	
15. 適用法	
: 労働安全衛生法	
: PTR法	
16. その他の情報	
記載内容以外の特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を 実施のうえ加工願います。	
本データシートはJIS-Z7250に準じて作成したものです。	

本データシートは、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、取扱い事業者に提供するものです。作成時点で弊社の有する資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関してはいかなる保証をなすものではなく、本データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。取扱う事業者は、これを参考にして、自らの責任において、個々の取扱い等の実体に応じた適切な処置を講ずることが必要です。